

長崎県佐世保市

置き配普及啓発事業に係るアンケート結果

Yper株式会社

佐世保市ゼロカーボンシティ推進室

アンケート調査について

アンケート調査は応募時の事前アンケートと、利用1か月経過後に行った事後アンケートの計2回実施しました。

1か月経過利用状況アンケート概要

実施期間	2024年10月28日～2024年11月10日
調査方法	Webフォームによるアンケート
対象者	1,500世帯
回答数	970件（回答率：64.67%）
調査内容	①利用状況 ・宅配便の利用回数 ・置き配バッグの利用回数 ・再配達となった回数 ②取組みへのご意見 ③当事業への応募のきっかけ



アンケート分析結果

置き配バッグ配布前後での再配達削減率（試算値）

配布前 再配達回数 (試算数)	配布後 再配達回数 (試算数)	再配達減少回数 (試算数)	再配達削減率
2,694回	894回	1,800回	66.83%

対象荷物の66.83%の再配達を削減できた結果となりました！

バッグ配布前後での再配達削減回数は1,800回となっており、バッグを配布してから1か月間で約844kgの二酸化炭素の排出抑制ができたこととなります。これは約96本の杉が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。



(参考) 二酸化炭素排出抑制量の算出方法と杉の木への換算について

※二酸化炭素排出抑制量の算出方法と杉の木への換算

二酸化炭素排出抑制量は国土交通省「宅配の再配達削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会報告書」を参考に以下の通り算出。

【算出式】

$$\begin{aligned} & \text{二酸化炭素排出抑制量[t-CO}_2\text{]} \\ & = N[\text{個}] \times 0.58[\text{km/個}] \times 1[\text{t}] \times 808/1000000[\text{t-CO}_2\text{/t-km}] \end{aligned}$$

0.58[km/個]：宅配事業者から提供の配送車の走行距離を取扱個数で除して算出。走行距離には幹線輸送の数値を含まない。

1[t]：積載量の平均を1tと想定。

808/1000000[t-CO₂/t-km]：営業用小型車の二酸化炭素排出原単位

杉の木への換算は林野庁 HP を参考に、1本の杉が1年間に吸収するCO₂量を8.8[kg]として算出。

本事業に対するご意見の紹介

再配達の削減により自身の手間が減って便利、再配達への罪悪感が解消されたなど肯定的なご意見が多く寄せられた一方で、防犯面での不安や、指定した荷物がバッグに入っていなかったなどのご意見がありました。

【ご意見例】

【利便性】

- ・ 普段から宅配を頼んでいて、不在票が入っているたびに手間と配達業者さんへの罪悪感があったが、置き配バッグが来てからそれが解消されとても満足している。設置もしやすかった。
- ・ 小さい子供がいるので、インターホンがなくてもなかなか出られないことがあったり、間に合わずに再配達になることがあったが、バッグを利用してからそれが軽減された。

【防犯面】

- ・ 切れば中身が取りやすいと感じるので、もう少し防犯面も兼ねた袋か箱にしてほしい。

【その他意見】

- ・ バッグの中に入れていても施錠をし忘れてあったり、置いたばかりの時は置き配を頼んでいてもチャイムを鳴らされたり、不在票が入っているときもあったため、もっと宅配業者への周知を徹底してほしい。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

まとめ

今回の事業およびアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
いただいたご意見は、市内の宅配事業者と共有し、より良い取組となるよう進めて参ります。
本市は運輸部門の温室効果ガスの排出量が多いことから引き続き再配達削減に向けて取り組んでいきたいと思います。

【再配達削減のために活用をお願いしたいこと】

- ・ 時間帯指定の活用（ゆとりある日時指定）
- ・ 各事業者の提供しているコミュニケーション・ツール等（メール・アプリ等）の活用
- ・ 多様な受取方法の活用（コンビニ受取や置き配など）



未来へつなぐ ゼロカーボン！
ZERO CARBON CITY
SASEBO

